令和 2 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画(PLAN)

事務事業名	(簡水)建設改良費事業	会計名称			力	x道特別		担当課		水道課					
尹仂尹木石	(順小) 建议以及其事未	予算科目	2 款	大 1 項 1	目	事業番号	9946	所属長名		野島康博					
事業評価の有無	■ 評価対象事業 □] 評価対象外事業(事業の概	要・結果のみ)				担当責任者名		出本宗	_				
法令根拠等	水道法								【開始】	令和/平成 (年度 年度				
総合計画での	快適空間都市の創造							実 施 期 間	【終了】	令和	年度(予定)				
位置付け	潤いのある水環境づくり		L 129 € J		設定なし										
総合計画における 本事業の役割	る 潤いある水環境つくりにおいて配水管未整備地区の解消や、水道施設の改修、更新を行うことにより、安全で安心できる水を需要者に供給する。														
事業の対象	市民(簡易水道の利用者)	事業の目	的	安全で安心な	水を需要者に伊	共給する。									
事業の内容 (整備内容)	簡易水道施設の改良工事をする。	昨年度の課 対する具体 改善策													

事	業活動	カのI	内容・	成果	(DO)																																
			事	業	費	赴 及	び		財	原	内	訴		(千	- Р	3 :)				事	業	: ;;	舌	動の	実	績		(活	動	指	標)		
	項			目		前年度決	算	当初	予算額	補	E予算	湏	継続	費その	D他	翌年度	[繰越	決	算額		IJ	Į	目			単位	前	年度:	実績	2	年度	定	9月末	の実	漬 2	年月	度実績
重	ī į	接	事	業	費				6, 886	i		0			0		0		5, 899																		
			庫支		金				0)		0			0		0		(建設	改良	費				式					5	765			0		4838
財源		県	支	出 :	金				0	١		0			0		0		()																	
内	1	地 方 債						0	1		0			0		0		()																		
訳		そ	の		他				0	'		0			0		0				美設備	費				式					1	121		10	58		1061
		_	般		源		0		6, 886			0			0		0		5, 899																		
			L (に				. 00		0.32										0. 32																		
		_	りの人			7,	992		7, 812										7, 812	4																	
>	(直	接	事業費·	+人作	‡費		0		9, 386	·		1							8, 399)																	
	Í	主な	実施主	:体		直接実施					画形態 ・委託																										
						<u> </u>	- 88 -		古米弗 乔	\ 14 16							3 年度			4	年	度	5 年度			度 6 年度			芰	7 年度			隻	5年間の合計			
						向こう5年	- (= (=	但接· 千円)	争耒賀0.)推移								6, 0	00		6	, 000			6,	000		6,	000			6,	000			3	0,000
												単位			区分	全度		前		年月	度	2	年月	叓	3	3	年月	芰	目標	毎		羊度					
			指	標		実施数量の)みを	記載	する。							:	千円			目	標																
	成果指標		標設定	≧の考	·え方	が が が 施設の設備の更新であるため、成果指標の設定は困難。									>	実	績																				
		1	指標で: 交	表せた	ない	施設更新を実施することで、維持修繕の頻度が減り耐用年数が								数が延	長され	る。								•													

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の 改善策に対する対応状況 工事を速やかに発注する。

	に対する対 度の途中		工事を速やかに発注	<i>t</i> 3。					
事	自		目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 概ね、施策の目的に沿った事業である。 2 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が		事業	施設の老朽化が進む中で企業会計となり、限られた予算 の中で計画的に更新を行なっていく。
	己	妥当性	社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 7 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3	14~15 : S 10~13 : A 8~ 9 : B	A	成果	
	判		市の関与の妥当性	5 析が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	3	5~ 7 : C 3~ 4 : D		エ	
務	定 (事業の効果	市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が		夫 し.	
	担	有効性	成果向上の可能性	1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	3	14~15 : S 10~13 : A 8~ 9 : B	В	た点点	
	当		施策への貢献度	1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 5 施策推進への貢献は多大である。 4 施策推進に向け、効果を認めることができる。	3	8~ 9 : B 5~ 7 : C 3~ 4 : D		事業の	漏水や機器の故障が多発しており、保守・点検を踏まえ 整備を行い長寿命化を行なう。
事	責		手段の最適性	1 施策推進につながっていない。 5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	3	合計点が		苦 労 -	
	任 者	効率性	コスト効率	1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。 5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3	14~15 : S 10~13 : A 8~ 9 : B	В	し た 点	
)		市民(受益者)負担 の適正	1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 6 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は満正と認める。 7 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 9 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。	3	5~ 7 : C 3~ 4 : D		課題	
業			目的の妥当性	1 他 場外 比較し、財産・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	4	合計点が		事	■ 事業継続と判断する。
	-	妥当性	社会情勢等への対応	1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~ 9 : B	A	業	□ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する
ص ص	次		市の関与の妥当性	1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3	5∼ 7 : C 3∼ 4 : D		の方	(判断の理由) 安全で安定した水道水を供給するために必要な事業であるため、事業継続とする。
	判定		事業の効果	1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 2 ま見せばか行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が		向	
	(有効性	成果向上の可能性	1 市民生活や行政内部の理題解決になっていない。 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 9 1	3	14~15 : S 10~13 : A 8~ 9 : B	A	性	安全で安定した水道水を供給することが、簡易水道事業
評	所		施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 施策推進に向け、効果を認めることができる。 2 2	4	5∼ 7 : C 3∼ 4 : D		属	における最も基本的な使命であり、本事業は、そのため の必要経費である。しかし、簡易水道料金収入は、減少 傾向にあるため、今後も限られた予算の範囲内で費用対
	属長		手段の最適性	1 施策推進につながっていない。 現状では最美の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 最適の手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 7 法動物機の実験すしない。 かまかたまいの目書によるである。	4	合計点が		長 の	効果を検証しながら施設更新等を図る必要がある。
)	効率性	コスト効率	1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 2 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3	14~15 : S 10~13 : A 8~ 9 : B	A	課題	
価			市民(受益者)負担 の適正	1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 世事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 2 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。	3	5~ 7 : C 3~ 4 : D		認識	

		一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	
施			
策	=		 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進
	_	■ 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	 に努め、今年度の事務事業評価シートに 反映させること。
を		一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	مر در ما
踏	次		
ま			
え	判	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
<i>t</i> =			
	4		
判	定	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
断		□ 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		□ 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	
行	外	答申の内容	
政 評			
価委	部		
委員会	評		
の	āT		
答 申	価		
今後の方	向性 (ACTION)		
		事業の方向性	
	の経	さらに重点化する。	
	最営	現状のまま継続する。	
	終者 判会	見直しの上、継続する。	
	断議	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
		事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	